

事務事業評価シート(平成25年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名				
31511	除害施設・特定施設に関する事務	建設水道課	下水道工務係	小野 耕一	田中 博				
		一次評価年月日	平成 26 年 6 月 13 日	連絡先(内線)	2167				
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)				
		<input type="checkbox"/> 一般	<input checked="" type="checkbox"/> 特別	5701	水処理センター管理事務				
		<input type="checkbox"/> 一般	<input checked="" type="checkbox"/> 特別	5731	水処理センター管理事務				
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)		3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり			
		節	(コード選択)		1節	地域基盤整備			
		項[基本施策]	(コード選択)		5項	下水道事業の推進			
目[主な施策]		(コード選択)		1目	住環境・河川環境の向上				
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/>	第五次行政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/>	主要業務報告	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	下水道法
事務期間	(開始)	3 年度	~	(終了予定)	年度	<input type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

下水道への排水基準に合うように排水を処理する施設(除害施設)の設置が必要な事業所及び水質汚濁防止法に定められた特定事業所

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

①特定事業所、除害施設設置事業所からの排水を下水道法に定める排水基準以下で下水道に流せるようにする。
②天竜川や小野川などの水質悪化原因とならないようにする。

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

1	工場が下水道へ接続する際に、特定事業所であるか、除害施設の必要な事業所かどうかを判断し、審査や必要な場合は除害施設設置の指導をする。
2	事業所排水の水質検査を実施し、排水基準に合った排水を下水道に流すように監視・指導する。
3	
4	

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
① 指標名	除害施設設置事業所・特定事業所の数	192	196	197	0.99	27	197
① 説明	除害施設設置の確認申請又は特定施設設置届出をした事業所数(累積)	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 H20からH22迄の年間の下水道への接続実績から予測					
② 指標名	立ち入り検査・水質検査数	53	53	53	1.00	27	53
② 説明	立ち入り検査又は水質検査を行った事業所の回数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 (重金属類などを使用する可能性のある事業所数×項目数)+立ち入り検査					

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
① 指標名	下水道への排水基準値内である割合	100	100	100	1.00	27	100
① 説明	法令に定められた排水基準値以内であること	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 基準値内の検査項目数÷全検査項目数(検査項目数×事業所数)					
② 指標名						27	0
② 説明		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等					

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度見込み
		326	319	306	289
対前年比	%		97.7	96.1	94.3
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)	(千円)	326	319	306	289
B)一般財源(税金)	(千円)	0	0	0	0
①事業費	(千円)	196	190	178	193
対前年比	%		96.9	93.7	108.4
②人件費の概算	(千円)	130	129	128	96
対前年比	%		98.8	99.5	74.7
		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
		H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26	H24 H25 H26
町職員(正規職員)		0.01 0.01 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.01 0.01 0.02
臨時職員		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 特定事業所、除害施設設置事業所の届出数
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性	C	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
処理場で処理できない重金属などを排出する恐れのある事業所を対象に、年1回以上の水質検査と立ち入り検査を実施する。	[反映内容] 水質検査委託料

(8) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

A	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。 B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。 C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。 D(1) 計画の実施には着手できなかった。 ※具体的な実施内容をお書きください
	水質検査及び立ち入り検査を実施する。また、未届けの事業所がないか調査を実施し、必要により届出の指導を行う。

(9) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
下水道法に基づき、除害施設・特定施設の管理を継続して実施。 重金属類を排出する恐れのある事業所は、年1回以上の立ち入り検査を実施する。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input checked="" type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択